



地方財政

～地方財政の基本を学び、県(市町村)財政の課題を理解する～

ねらい

地方財政の現状・制度等に関する基礎知識を習得するとともに、県(市町村)財政の課題について理解を深めます。

特徴

- ・新潟県や県内市町村の財政データ等を用いた講義のほか、財政分析演習を通して、自治体の財政構造や財政面で抱える課題などを把握、分析する能力を身に付けることができます。
- ・財政分析演習では、パソコンを使用して財政データを入力、加工し、分析を行うことで、より実践的な財政分析能力を習得します。

形式

本研修は座席を教室型に配置し、講師による講義や演習などを中心に実施します。

■日程【3日間】

8月25日(水)～27日(金)

■予定人数

20名

■対象

- ・国や地方の財政状況や地方財政制度に関する基礎知識を身に付けたい方
- ・財政分析の手法を習得したい方

■講師

新潟大学経済学部 准教授 鷲見 英司

プログラム(予定)

	9:00	12:00	13:00	17:00
1日目	1. 国と地方、新潟県の財政		2. 決算収支	
2日目	3. 地方公会計制度、地方財政計画		4. 財政構造の弾力性	
3日目	5. 地方債制度、地方財政健全化制度		6. 地方財政の将来負担	

カリキュラム(予定)		
時間	内容	
1 日 目	9:00 12:00	1. 国と地方、新潟県の財政 (1) 講義: 国・地方の財政状況(国民経済計算、国際比較) (2) 講義: 地方財政の役割
	13:00 17:00	2. 決算収支 (1) 講義: 決算収支 (2) 財政分析実習、グループ演習、全体報告
	2 日 目	9:00 12:00
13:00 17:00		4. 財政構造の弾力性 (1) 講義: 財政構造の弾力性 (2) 財政分析実習、グループ演習、全体報告
3 日 目		9:00 12:00
	13:00 17:00	6. 地方財政の将来負担 (1) 講義: 地方財政の将来負担 (2) 財政分析実習、グループ演習、全体報告

※研修内容は現段階での予定であり、今後、変更となる場合があります。

受講者の声(令和2年度)

- 今回の講義において、財政用語をただ暗記するのではなく、可視化することで、意味合いを感覚として捉えることができるようになった。この感覚を失わないよう今後の業務においては数字の裏にある原因を意識していきたい。
- データや理論に基づいた分析により、地方自治体の「健康状態」とも言うべき財政状況を適確に捉えることができるようになった。それと同時に、財政分析のみでは、事象の結果のみしか読み取れないためその裏にある出来事や情勢等の文脈から事象の原因を探る必要があるということも理解できた。3日間という長い時間であったが、非常に面白い内容で、充実した意義深い研修であった。
- 質問や説明などとてもいい感じで理解が深まった。特にグラフの説明について、専門用語ではなく分かりやすく説明して頂き勉強になった。事前に地方財政論の本を一読し深くまで理解できなかったが、講義にて理解を深めることができた。